

5月19日は 「World IBD Day」



「World IBD Day」は、5大陸50カ国以上を代表する患者団体が主導し、IFCCAがコーディネートするイベントです。多くのIBD関連団体により世界各地でIBDへの理解を広げるための啓発活動が行われます。



IBD患者への理解と支援のシンボルとして紫色のリボンやライトアップが用いられています。



日本でも、5月19日は「IBDを理解する日」とされ、患者さんの団体や支援団体により各地でさまざまな啓発活動が行われます。



2026年も東京タワーや各地でのライトアップ、講演会などさまざまなイベントが開催されます。

 <https://world-ibd-day0519-event.site/>

 <https://ibdnetwork.org/2026/05/4922/>



「IBD患者さんの日常生活を彩る会」も

5月19日が、多くの方にとって、IBDについて深く知り、考えるきっかけとなり、患者さんが少しでも自分らしく、安心して日常を過ごせる社会になることを願っています。

IFCCA
とは

※IFCCAは、IBDの患者団体46団体を代表する組織で、世界中で1000万人以上いると言われるIBD患者の声をより大きく、より広く知らしめ、彼らの生活を改善する共通の目標を持つ人々の集まりです。